

三代 ^{きりたけ かんじゅうろう} 桐竹 勘十郎 芸歴 人形浄瑠璃文楽座・人形遣い

本 名 宮永 豊実 (みやなが とよみ)
父は二代桐竹勘十郎 (1920-1986) 重要無形文化財保持者
生年月日 昭和28年 (1953) 3月1日
大阪市出身 (大阪市立住吉第一中学校卒業)

[芸 歴]

昭和42年 7月 文楽協会人形部研究生となる (14才)
三代吉田箏助に師事、吉田箏太郎と名のる
昭和43年 4月 文楽協会技芸員となる
初役は、大阪毎日ホール「壇浦兜軍記・阿古屋琴責の段」の水奴
平成15年 4月 大阪・国立文楽劇場において、三代桐竹勘十郎を襲名
「絵本太功記・尼ヶ崎の段」の武智光秀で披露
5月 東京・国立劇場において「尼ヶ崎の段」の武智光秀で
三代桐竹勘十郎を襲名披露
平成17年 7月 小割委員に吉田玉女 (現・玉男) と共に就任
令和 2年10月 (一社) 人形浄瑠璃文楽座代表理事に就任

[主な受賞歴]

昭和61年 2月 第3回咲くやこの花賞
平成 7年 3月 芸術選奨文部大臣新人賞
平成20年 3月 芸術選奨文部科学大臣賞
11月 紫綬褒章
平成22年 5月 平成21年度 (第66回) 日本芸術院賞
平成24年 3月 第31回 (平成23年度) 国立劇場文楽賞文楽大賞
12月 平成24年度大阪文化賞
平成25年 4月 第32回 (平成24年度) 国立劇場文楽賞文楽特別賞
平成28年 1月 第57回毎日芸術賞 (演劇・邦舞・演芸部門)
平成29年 2月 平成28年度大阪文化祭賞優秀賞
平成30年 8月 第38回伝統文化ポラ賞 優秀賞
平成31年 4月 第38回 (平成30年度) 国立劇場文楽賞文楽大賞

[著 作]

平成26年 4月 「なにわの華 文楽へのいざない 人形遣い桐竹勘十郎」(淡交社)
「文楽へようこそ」 (小学館) ※吉田玉女 (現・玉男) との共著
平成29年 1月 「一日に一字学べば…」 (コミニケ出版)

[代表的な役]

『義経千本桜』狐忠信、『夏祭浪花鑑』団七九郎兵衛、『女殺油地獄』河内屋与兵衛
『絵本太功記』武智光秀、『加賀見山旧錦絵』召使お初、『曾根崎心中』遊女お初
『摂州合邦辻』玉手御前、『本朝廿四孝』八重垣姫、『壇浦兜軍記』傾城阿古屋
『妹背山婦女庭訓』娘お三輪